

防火材料 大臣認定仕様商品 (NM-0700)

木部用水性クリアー塗料
有害難燃薬剤未使用水性エコロジータイプ

モーエンアクア シリーズ

F☆☆☆☆登録商品

木の本質を生かす

安全で作業性に優れた

木部用一液型水性ウレタン塗料

国土交通省 防火材料認定を受けた (不燃材料認定番号NM-0700)



モーエンアクア シリーズ

F☆☆☆☆登録商品・学校環境衛生基準適合

特長

1. 国土交通省 防火材料大臣認定取得商品 (不燃材料)

「モーエンアクア」シリーズは、厳しい防火材料試験（不燃材料）に合格した、他に類を見ないクリアタイプの水性特殊ウレタン塗料です。（データ集参照）

※不燃材料上の塗装にて認定を取得しております。不燃材料以外の材料に塗装を施しても、認定外の仕様となりますのでご注意ください。

2. 低VOC、有害難燃薬剤を使用しない 安心のエコロジータイプ（超低臭タイプ）

F☆☆☆☆登録はもちろん、厚生労働省指針の特定14物質及び、有害難燃薬剤も含んでおりません。低VOCなので、イヤな臭いが無く、安心してご使用いただけます。

3. 木質感が生きるクリアタイプ

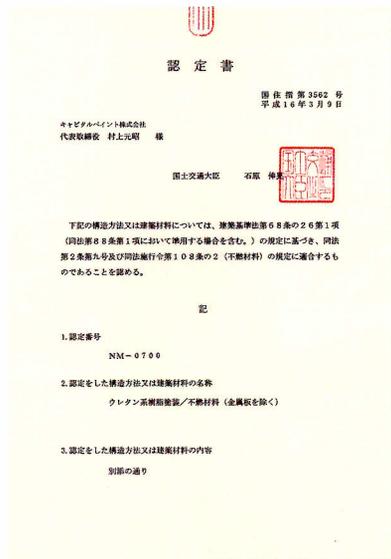
厚塗りタイプの耐火塗料等は、一般的に濁った塗膜になりますが、モーエンアクアの塗膜は透明感があり、木質本来の持っている質感を損ないません。又、肉持ち感があり、二液ウレタン塗装のような高級感が表現できます。（塗装見本参照）

4. 抜群の塗膜性能と作業性

汚れや傷がつきにくく、壁・室内床に使用が可能です。乾燥が速く、一液タイプなので作業性が向上します。

5. やすらぎの材料 木質を積極的に使用可能に！

木質は、癒し効果やリフレッシュ効果等が期待され、室内環境への利用が勧められています。モーエンアクアの塗装により、可燃物である木材が難燃材料等になるわけではございませんが、不燃材料取得塗料を塗装することが消防側で評価されれば、従来防火制約上使用が困難であった物件においても、木質を使用できる可能性があります。建築基準法内装制限がかかる現場では、自治体・消防関係へ資料を提出して事前相談の上、承認が必要となります。



クリヤータイプの水性塗料

※品 種

下塗り モーエンアクア サンディング (F☆☆☆☆登録番号: K03088)

上塗り モーエンアクア クリヤー/半艶消し/全艶消し (F☆☆☆☆登録番号: K03089)

※用 途

- ◎ 防火材料 (不燃材料) 認定建材及び構造物 (金属板を除く)
- ◎ カベ、フローア、天井等の木部内装
(学校、幼稚園、ケアハウス、オフィス、一般住宅、公共物件等)
- ◎ インテリア木製品

※塗装方法

ナイロン刷毛、ローラー、モップ、スプレー

※標準塗装工程

【クリヤー仕上げ】

工程	使用材料	塗布量	塗料配合及び塗装方法	乾燥時間(20℃)
素地研磨	サンドペーパー#180~240			
下塗り	モーエンアクア サンディング	60~80g/m ²	水で0~20% (刷毛) 水で20~50% (スプレー)	2時間
ブツ払い	サンドペーパー#320~400		軽めにおこなう	
中塗り	モーエンアクア サンディング	60~80g/m ²	水で0~20% (刷毛) 水で20~50% (スプレー)	3時間
研磨	サンドペーパー#320~400			
上塗り	モーエンアクア クリヤー (又は半艶消し・全艶消し)	50~60g/m ²	水で0~10% (刷毛) 水で10~20% (スプレー)	一晚

【着色クリヤー仕上げ】

工程	使用材料	塗布量	塗料配合及び塗装方法	乾燥時間(20℃)
素地研磨	サンドペーパー#180~240			
着色	ワンダー水性1液型 各色	60~80g/m ²	原液使用	2時間
下塗り	モーエンアクア サンディング	60~80g/m ²	水で0~20% (刷毛) 水で20~50% (スプレー)	2時間
ブツ払い	サンドペーパー#320~400		軽めにおこなう	
中塗り	モーエンアクア サンディング	60~80g/m ²	水で0~20% (刷毛) 水で20~50% (スプレー)	3時間
研磨	サンドペーパー#320~400			
上塗り	モーエンアクア クリヤー (又は半艶消し・全艶消し)	50~60g/m ²	水で0~10% (刷毛) 水で10~20% (スプレー)	一晚

※容 量

- 15kg 缶 (約180m²/1回塗り・サンディング)
(約240m²/1回塗り・クリヤー/半艶消し/全艶消し)
- 3.5kg 缶 (約42m²/1回塗り・サンディング)
(約56m²/1回塗り・クリヤー/半艶消し/全艶消し)

◎ 塗装可能面積は刷毛塗り時の目安であり、塗装器具や被塗物の形状によって異なります。

標準塗装工程塗装見本



※設計材工価格 (標準塗装工程定価)

3,500円/m² (新築300m²以上 下地処理別途)

上塗り・クリヤー仕上げ/素材・ヒノキ

注意事項

- 「モーエンアクア」の塗膜そのものは不燃材料認定を取得していますが、これを可燃物の木材に塗装しても、木材そのものが難燃材料（準不燃材料・不燃材料）になるわけではありません。しかし、不燃材料認定塗料を塗装することが、消防側で評価されれば従来防火制約上使用が困難であった物件においても、木質を使用できる可能性があります。従いまして「モーエンアクア」のカタログ及び国土交通省認定書一式を所轄の消防署へ提出して、確認する事をお勧めします。
- 難燃薬剤を注入した木材（不燃・準不燃木材）は、薬剤の性質上、水性塗料と相性が良くありません。「モーエンアクア」は水性ウレタン塗料ですから、薬剤の影響で同様に塗装不良になります。難燃薬剤を注入した木材への塗装は、弊社へご相談の上、溶剤タイプの「モーエン3シリーズ」をご使用ください。
- 使用後の塗装用具類は、できるだけ早くきれいに水洗いしてください。放置しておきますと、塗料の性能により水では洗浄しにくくなります。その場合には、アルコール類で洗浄してください。
- 漂白剤・ヤニ抜き剤等が塗布されている材の場合、「モーエンアクア」を塗装しますと反応により塗装不良となることがありますので、事前にテストをして確認の上ご使用ください。
- ヤニ分の多い材（チーク材等）は、十分にヤニ抜きを行って水洗いをし、乾燥させてから塗装してください。ヤニ分が残っている場合、密着不良を起こすことがあります。
- 屋内専用塗料ですので、屋外での使用は出来ません。
- 高濃度のアルコールや酸、随時水のかかる場所・高湿度となる場所への塗装は避けてください。
- 塗料は一度凍結してしまうと、解凍をしても十分な性能を発揮しません。保管場所に注意してください。
- 室温が5℃以下または湿度が80%以上になると、乾燥・硬化が遅れますので、塗装を避けるか室温・湿度の調整をおこなってください。
- 塗り替えの際には、旧塗膜、ワックス、油分等を除去し、よく研磨をしてから塗装をおこなってください。
- 塗料や洗浄した水等を、下水や河川等に廃棄しないでください。
- 安全面については十分に考慮した塗料ですが、SDSを必ず読み遵守してください。
カタログ・SDSの記載内容は、現時点で入手可能な資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ・評価を保証するものではありません。目的に合うかどうか、必ず事前に試し塗りをおこなってください。

CPC キャピタルペイント株式会社

（一社）日本塗料工業会正会員・Coatings Care®宣言会社

〒569-0054 大阪府高槻市若松町8番10号

TEL : 072-672-7330

050-3763-4848

FAX : 072-672-7336

Homepage : <https://www.capitalpaint.jp>

E-mail : info@capitalpaint.jp

お問い合わせ

モーエンアクア施工における消防関係実績例

【物件名 1】埼玉県入間市 入間幼稚園（保育施設） ー平成 16 年 4 月ー

経緯： 幼稚園の改修工事において、園舎 2 階保育室の腰板部分に杉の羽目板を施行したが、その際に床より 120cm 以上の杉板を使用してしまった為、工事引き渡し前に管轄の消防署より内装制限上の問題で改善指導があった。

結果： 設計事務所及び施工業者より、モーエンアクアの資料一式を提出して消防関係に説明する。

- ・ 国土交通省防火材料認定書及び試験成績書
- ・ JIS-A-1321 防火性能試験における難燃一級合格試験成績書 他

その結果、管轄の消防署より許可を得て、使用頂いた。

【物件名 2】埼玉県行田市 レストラン蔵一山（商業施設） ー平成 16 年 12 月ー

経緯： 古い酒蔵を再利用してレストランに改造する際に、酒蔵の古民家風デザインを活かすため木材をそのまま使用したところ、酒蔵（倉庫）からの使用変更との事で、埼玉県の土木事務所より内装制限上の問題で指導があった。

結果： 物件名 1 の入間幼稚園の場合と同様の資料を提出した結果、県の許可を得た為、使用頂いた。

以上のケースにおきまして、

- ・ モーエンアクアが塗膜としての不燃材料認定を取得している点
- ・ JIS-A-1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性能試験方法」に基づく難燃一級に合格しており、一般の塗膜と比較して発煙係数（一般塗料 60～70、モーエンアクア 11～16）が少なく安全性に優れている点が評価され、使用を頂いたと考えております。

キャピタルペイント株式会社

【大阪本社】

大阪府高槻市若松町 8 番 10 号

TEL 072-672-7330

FAX 072-672-7336

Homepage <http://www.capitalpaint.jp/>

E-mail Capital1@sirius.ocn.ne.jp

【東京駐在所】

千葉県野田市岩名 1-77-14

TEL&FAX 04-7129-2004

モーエンアクア Q&A

不燃材料認定取得の水性塗料「モーエンアクア」に関する皆様からのお問い合わせが、数多く寄せられております。それらの内容について事例を交えて回答集としてまとめました。皆様のご参考になれば幸いです。

キャピタルペイント株式会社

Q1. 幼稚園の改築工事物件で、二階内装の羽目板を杉板で施工したところ、所轄の消防署からの内装制限による改善指導があった。工事はほぼ完成しており、いまさら不燃認可木材でやり直すわけにもいかないので困っている。

また、市町村コミュニティセンターの新築工事物件を現在設計中であり、この内装に地場産木材（スギ・ヒノキ）を使用予定だが、内装制限のため建築確認で問題となっている。

「モーエンアクア」を塗装する事で内装制限をクリアできないか？ モーエンアクア塗装で木材の難燃化は可能なのか？

A1. 「モーエンアクア」の塗膜そのものは不燃材料認定（NM-0700）を取得していますが、これを可燃物の木材に塗装したからといって木材そのものが難燃材料（準不燃材料・不燃材料）になるわけではありません。しかしながら、「モーエンアクア」を塗装する事により、少なくとも木材の表面へ難燃性を有する塗膜が形成される為、このことが評価されれば許可を得られる可能性はあります。従って、「モーエンアクア」のカタログ及び国交省認定書一式を関係各所へ提出して確認する事をお奨めします。

平成16年4月埼玉県の子園にて内装制限部分に塗装で許可となった事例をはじめ、全国で同様の例があります。



Q2. 防火塗料の中には木材用のものがあるが、それらは塗膜を極端に厚塗りにしなければならず、また塗膜ボケにより木目が活かされていないものが多いが、「モーエンアクア」はどのようなものか？

A2. 厚塗りタイプの耐火塗料や防火塗料は、熱が当たると発泡して炭化層を形成するものが多いのですが「モーエンアクア」はこのタイプではありません。「モーエンアクア」はJIS-A-1321(1994)に基づく難燃一級試験合格品及び国交省不燃材料認定品として、あくまでも建築塗装現場で一般木部塗装仕上げが簡単に出来るように設計されております。しかも、その塗膜は全くボケずに木目をそのまま綺麗に活かして仕上げる事が出来ます。



Q3. 着色（染色）仕上げはどのようにするのか？

A3. 「モーエンアクア」は下塗りも上塗りもクリヤーの為、着色する場合は木材へ直接下地着色としてJIS難燃一級試験合格品「ワンダー水性1液型(各色)」を塗装してください。



Q4. 不燃木材や準不燃木材への「モーエンアクア」塗装はできるのか？

A4. 難燃薬剤を加圧注入した木材（不燃・準不燃など）は基本的に水性塗料と相性が悪いとされております。「モーエンアクア」も水性ウレタンなので同様に塗装は出来ません。

その場合は、溶剤タイプのウレタン難燃性塗料「モーエン3」をご使用ください。